

## 総 務 部

### 1. 方針

道へき・複連の目的に沿って、各地区へき地複式教育研究団体の活動を促進し、関係団体との連携を密にする。また、調査活動の充実を図り、道へき・複連の組織強化と適正な運営に努め、本道へき地・複式教育の振興に寄与する。

### 2. 活動内容

- ①各地区との連携（総会・評議委員会等）
- ②へき地教育に関する調査の実施（全へき基本調査等への協力）
- ③道へき・複連独自の調査の実施  
へき地・小規模・複式校及び地域の課題と対策に関わる調査
- ④陳情、要請活動（全へき連、道教委、道研、地教委等）
- ⑤関係機関との連携（全国、道内教育関係機関及び団体）
- ⑥道へき・複連組織の検討（組織検討委員会の設置）
- ⑦その他各部に属さないこと

### 3. 具体的推進計画

- (1) 全へき連関係
  - ①全へき連との関係を一層密にし、組織強化と研究推進に道へき・複連の要望が生かされるように努める。
  - ②へき地・複式教育の条件整備と待遇改善の取り組みをより強化し、本道の実態に即した振興策に反映するよう努める。
  - ③定数改善（専任教頭及び養護教諭、事務職員全校配置）に向けて、陳情、要請活動を関係機関・団体に対して強力に行う。
  - ④全へき連調査関係への対応。
- (2) 道へき・複連関係
  - ①平成 20 年度へき地・複式教育振興施策に対する陳情、要望活動を関係機関・団体に対して強力に行う。
  - ②組織検討委員会を設け、全へき連負担金納入の適正化、道へき・複連の組織上の問題等について検討する。
  - ③関係機関・団体との連携を強めていく。  
※道教委・道小・道中・道研・道教育大・道教育大へき地教育センター・道P連等
  - ④未加入校のある地区の実態を考慮しながら加盟校促進を図る。
  - ⑤地域の課題とその対策等に関わる調査を実施する。
- (3) その他
  - ①事務局、各地区との連携を図り、事業の推進に努める。
  - ②国際交流、校外体験学習等の推進に努める。

## 研 究 部

### 1. 研究主題

「自ら創造的に学び豊かな心でたくましく郷土を拓く子供の育成」

～へき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かし、一人一人の児童生徒に「新たな時代を生き抜くための力」を育む学校・学級経営と学習指導の充実を目指して～

### 2. 活動の重点及び具体的活動内容

道へき・複連の第 7 次長期 5 か年研究推進計画の 4 年目として、研究成果の累積・還流を図ると共に、残された課題を整理し、第 8 次長計に向けた展望を明確にする。

- (1) 共同研究体制の強化と実践研究の充実
  - ①研究推進委員長を中心とする組織体制の確立
  - ②研究推進委員会、企画委員会の効果的運営
  - ③各地区へき・複連研究活動への協力
  - ④小規模中学校に対する共同研究参加呼びかけ
- (2) 全道へき地複式教育研究大会の効果的な開催
  - ①全道へき地複式教育研究大会空知大会の開催。
    - ア 関係機関・団体との連携
    - イ 準備・運営等に関する協力と援助（共同研究者）
    - ウ 平成 19 年 9 月 20 日（木）21 日（金）
  - ②道へき地複式教育研究大会檜山プレ大会の開催
    - ア 準備・運営等に関する協力と援助（共同研究者）
    - イ 平成 19 年 9 月～ 11 月
- (3) 第 7 次長計に基づく実践研究の集約
  - ①第 23 回北海道へき地複式教育実践研究発表大会の効果的な開催
    - ・平成 19 年 10 月 23 日（火）
  - ②地区へき地・複連教育実践研究資料の蓄積と還流
- (4) 第 8 次長期 5 か年研究推進計画の策定
  - ①長計策定委員会の設置
  - ②道研・へき研センターとの連携
- (5) 研究資料の編集と発行
  - ①各地区研究大会の成果と課題の集約
  - ②道へき・複連「研究部情報」の発行（年 2 回）
  - ③道へき・複連研究主題等一覧表の作成（CD 配布）
  - ④全国へき地教育研究連盟発刊図書への協力
- (6) 教育関係各機関・団体との連携
  - ①北海道教育委員会・各教育局との連携強化
  - ②北海道立研究所、各地区教育研究センターとの連携
  - ③全国へき地教育研究連盟との連携
    - ア 全へき連 図書編集委員会
    - イ 全国へき地教育研究推進協議会
    - ウ 全国へき地教育研究大会への参加